

1 建設候補地選定の経過及び予定

年度	月日	委員会等	協議事項(内容・意見)等
6		学校適正配置庁内検討委員会 第1回:令和6年5月15日 第2回:令和6年5月25日 第3回:令和6年6月6日 第4回:令和6年9月17日	○学校適正配置庁内検討委員会 (構成委員) 副市長、教育長、管理職など
		学校統合検討委員会 第1回:令和6年7月23日 第2回:令和6年10月18日	○学校統合検討委員会 (構成委員) 小中学校教職員、児童生徒の保護者、地域住民代表など
	10.28	市議会議員全員協議会	○建設候補地選定の経過及び予定について ○統合中学校建設候補地について ○建設候補地の評価基準について
	11.18 ～ 11.21	住民説明会 11月18日 松尾中学校 11月20日 西根第一中学校 11月21日 西根中学校	○参加者 ・松尾中:43人 西根一中:38人 西根中:47人 延べ:128人 ○主な意見 ・松尾中学校を建設候補地に加えてほしい。 ・統合まで8年は長すぎる。 ・小学校統合も急いでほしい。
	1.10	第2回総合教育会議	○総合教育会議 (構成委員) 市長、教育長、教育委員
	1.23	第5回学校適正配置庁内検討委員会	○建設候補地の追加について ・住民説明会で松尾中学校を建設候補地に加えてほしいとの多くの意見を頂いたこと等により建設候補地とした。 ○建設候補地の絞り込みについて ・松尾中学校を加えた8候補地を4候補地に絞り込んだ。 ・絞り込み方法は、建設候補地の評価において、「教育環境(立地等)」、「教育環境(安全性等)」、「立地環境」、「整備環境」のそれぞれの評価項目毎に最も優先度が高い候補地を選定した。
	2.12	第3回学校統合検討委員会	○今後の予定について ・下記のとおり
	3.18	市議会議員全員協議会	
7	3.21	第3回総合教育会議	・これまでの経過説明
	4月 下旬	学校統合検討委員会 学校適正配置庁内検討委員会	・候補地の視察、住民説明会資料、小学校統合など
	5月 中旬	住民説明会	・4候補地への意見を伺う
	6月～ 9月	学校統合検討委員会 学校適正配置庁内検討委員会	・適時開催し意見を求める
	10月 月上旬	総合教育会議	・優先候補地の判断を頂く
	10月 月下旬	優先候補地の決定	・優先候補地を決定する

2 統合中学校建設候補地の絞り込みについて

統合中学校建設候補地を下記の4候補地に絞り込みを行った。

No	候補地名	選定理由	強み・優位点	考えられる課題等
1	① 市民センター 西側	建設候補地の評価において教育環境（立地等）及び教育環境（安全性等）の評価の優先度が最も高い候補地である。	(1) 新たな場所への建設であり、制約なく新しい考え方や設備等を盛り込んだ校舎・施設を作ることができる。学校運営に支障をきたすことはない。 (2) 警察署・消防署が近接し、生徒の安全・安心が確保できる。 (3) やや西根よりではあるが、現在の3中学校の所在地のほぼ中央近くに位置していることから理解が得られやすい場所であると考えられる。 (4) 新校舎の工事完成を待たずに、西根中校舎を活用して統合校を開校させ、3校一緒に学校生活を始めることが可能である。	(1) 土地取得の交渉、農振解除、農地転用、開発許可等の手続きが必要となる。 (2) 岩手山火山泥流区域となっており、建設にあたっては防災対策が必要となる可能性がある。 (3) 新たな場所への建設であり⑥現西根中学校・⑧現松尾中学校案より建設経費が高む。また、開校も2年程度遅くなる。
2	② 総合運動公園 付近	建設候補地の評価において立地環境の評価の優先度が最も高い候補地である。	(1) 新たな場所への建設であり、制約なく新しい考え方や設備等を盛り込んだ校舎・施設を作ることができる。学校運営に支障をきたすことはない。 (2) 総合運動公園の体育館や陸上競技場、野球場などを有効に活用できる。 (3) やや西根よりではあるが、現在の3中学校の所在地のほぼ中央近くに位置していることから理解が得られやすい場所であると考えられる。 (4) 新校舎の工事完成を待たずに、西根中校舎を活用して統合校を開校させ、3校一緒に学校生活を始めることが可能である。 (5) 国道282号（バイパス）に隣接しておりスクールバス等の自動車の乗り入れの便が良い。	(1) 土地取得の交渉、農振解除、農地転用、開発許可の手続きが必要となる。 (2) 上下水道の整備区域外であることから浄化槽等の設備費用が増加する。 (3) 新たな場所への建設であり⑥現西根中学校・⑧現松尾中学校案より建設経費が高む。また、開校も2年程度遅くなる。
3	⑥ 現西根中学校	建設候補地の評価において整備環境の評価の優先度が最も高い候補地である。	(1) 現在の学校敷地を利用すれば用地交渉や農振解除等も不要なことから早期の工事着手が可能であり、①市民センター西側・②総合運動公園付近の案より開校まで2年程度短縮される。 (2) 現在の体育館とプールを活用すれば工事費を節減できる。 (3) 警察署・消防署・市立病院が近接し、生徒の安全・安心が確保される。 (4) 最も生徒の多い大更地区に位置していることから、通学の便の良い生徒が多くなりスクールバスの利用台数も抑えられる。	(1) 現テニスコート付近に建設するという制約があるため、良好な日照確保に一部制約が生じる。また、校舎の構造や配置にも制約が生じる。 (2) 建設工事により多くの工事車両が出入りすることで生徒の通行や登下校の安全確保に注意が必要となる。また、校庭が資材置き場になることで、体育や部活動、学校行事等の学校運営に大きな支障が生じる。 (3) スクールバスの運行や保護者の駐車場確保等渋滞への対策が必要となる。 (4) 学校敷地の一部が土砂災害警戒区域になっており、建設位置・方法などによっては対策が必要となる。
4	⑧ 現松尾中学校	建設候補地の評価において整備環境の評価の優先度が最も高い候補地である。	(1) 建築後36年の校舎であり、適切な維持管理を行えば後30年程は使用可能である。 (2) 増改築工事を行い必要学級数を増やせば3校の統合校舎としての利用が可能であり、工事費を節減できる。 (3) 現在の学校敷地を利用すれば用地交渉や農振解除等も不要なことから早期の工事着手が可能であり、①市民センター西側・②総合運動公園付近の案より開校まで2年程度短縮される。 (4) 近接のB&Gプール、松尾アリーナ、松尾グラウンド、松尾コミセンなどを有効に活用できる。	(1) 3校の生徒を合わせると12学級が必要となるが、現在の校舎には9学級しかないため、特別支援学級を含め6学級程度増築する必要がある。 (2) 西根地区の多くの生徒をスクールバス輸送として通学させることになるため理解を得るのが難しいと考えられる。 (3) スクールバス輸送費用が相当な額になるものと予想される。 (4) 岩手山火山泥流区域となっており、建設にあたっては防災対策が必要となる可能性がある。

位置図

